

高校入学試験の成績を通じて見た

中学校教科教育の問題点

Ⅰ ま え が き

- (1) 本研究は本年度の本校入学試験の成績を分析し、それを通じて現在の中学校の教科教育の実情、中学校卒業生の学力がどうであるか、をみようとしたものである。

そういう観点からわれわれは試験問題を作製する時、指導要領が要求し、われわれも重要だと考える事項を選び、また、それらの問題がいわゆる受験勉強をしていなくてはできないようなものでなく、むしろ落ちついた地道な毎日の学習をやっていさえすればできるようなものを作ろうと心がけた。

しかし、ペーパーテストという制限をうける以上すべての領域にわたることはできず、知的理解の面に限らざるを得なかった

- (2) 試験科目は中学校の必修科目としての国語・社会・数学・理科・図画工作・保健体育・音楽・職業家庭の8科目と、選択科目の職業(農・工・商)、家庭および英語のうち1科目と、計9科目について行った。

問題の形式は客観テストの形式によって作製した。

- (3) 受験生は男女合計1440名(男997,女443,その中から110名を合格者とした。)

この母集団から男女おのおの無作為抽出により100名ずつを選び研究の対象とした。この結果、母集団平均、男52.3(S.D.=9.57),女51.45(S.D.=9.70)で、標本平均、男53.6(S.D.=10.4),女51.05(S.D.=9.44)となり、この抽出が適切であったことを示している。

またキューダー・リチャードソン法によるこ

の試験の信頼度係数は $\gamma=0.768$ で、かなり高い信頼度のあることを示している。

たゞこの際母集団としての受験生が、中学三年生全体の中の特異な集りであることはやむを得ない制限である。またある学校では200名近くの生徒が受験し、他の学校では2,3名を数えるに過ぎないという状況であり、学校の数も約100校にのぼっている。従ってこゝから導き出される推論がすべての中学生に対して妥当であるか、またそれが現在の中学校教育の実情を正しく表わしているかどうかは問題である。

しかし、一応これらの制限の上に立っても、なおそこに見られる一連の傾向は現在のいくつかの問題点の一部であろうと思われる。

- (4) 本研究は本校の全教官が参加し、各科における分析と推論とは、その教科担当の教官が行ない、それを研究部においてまとめたものである。

- (5) 各教科についての推論について、次の二つのことを了承していただきたい。

(イ) 分析の場合、すべての問題を例としてあげることが困難なので、典型的と思われるいくつかのものをあげることにとどめざるを得なかった。

(ロ) 問題の数が少なく、独立したそれぞれのことについてはいへても、全体的なことを断定することはできない。

Ⅱ 本 論

1. 国 語 科

問題(一)は木俣修氏の「短歌の作り方」の一節からとった。例歌をあげ、よい歌とそうでない歌の説明がしてある。

問1. 例歌からよい歌を選ばせた。正答率3%。

文章を一語一語吟味して読み取っていない、従って主観で優劣を決定する傾向がある。

問3. 「具体的に」「単なる」の意味を問うた。前者は67%、後者は20%の正答率。ことばの根本的な意味と、その場に適切な意味を正確につかんでいない者が多い。

問4. 漢字書取力をみた。印象・興奮・清新の中、三つともできたもの14.5%、2つだけできたもの32.5%、一字だけできたもの20%。正答率を細分してみると、印57%、象83%、興80.5%、奮67.5%、清47.5%、新60%。これで見るとその場に該当する意味がとれないため誤りを犯すものがあるにせよ(清新)、教育漢字を完全に書けないものが相当数いることになる。またルーズな書き方をして正確に書く態度に欠けるために誤りを犯しているものもある(印)。また象・奮は似通った字に間違えたものもある。

問題(二)は西尾実氏の「ことばとその文化」の一節からとつた。

問1. 「さらに・前者・あるいは・後者・また」という五つのことばを抜いておき、それを入れさせた。正答率17%。全部できない者77%、一部できたもの6%。前後の関係をよく考えて論理的に筋を追って読んでゆく力に欠けるものが相当数いることがわかる。

問2. 要旨をは握させた。正答率57%。

問4. イ. 茶飯事・微笑につき読字力をしなべた。正答率は茶飯事28.5%、微笑89%。

問4. ロ. 「かたく握る」かたくの品詞を問うた。正答率53%。品詞というものは一応知っているが、さらに各品詞についての理解が不十分だと思われる。

上記の問題のほか二・三あるが正答率が低率でないので本稿でははぶいた。

全体としての正答率は男子46.8%、女子49%、男女平均して47.9%。

たゞこれだけの資料で結論を下すことは避けなければならないが、中学校教育において我々をもふくめて今後それと力を入れるべく要望したい点をあげてこの稿を終えたい。

1. 語いの獲得と読字力。

2. 教育漢字の書取力。

3. 文章の読解力、とくに論理的な文章を読みこなす力。

4. 文学的な面にもっと重力をかける。

2. 社会科

社会科の問題中歴史の時代概念に関するもの(問題三)と地理的知識に関するもの(問題一)について結果をまとめてみよう。

(1) 歴史の時代概念の中で、フランス革命と大恐慌を比べてみると、その正答率は70%、と22%となっている。いずれも近代史・現代史の成立にとって最も大きな事件であり、しかも大恐慌は日本の社会に大きな影響を与えたものでありながら、こうした正答率となっているのはなぜであろうか。

あるいはフランス革命は歴史以外のいろいろな分野で何度も出てくるから理解度が高いのかもしれないけれど、大恐慌の理解が低いことはその学習の仕方に問題があるのかもしれない。

また、フランス革命の誤答に南北戦争が多かったこと(20%)は時代概念が明確にとらえられていない結果とも考えられるし、大恐慌の誤答にシベリア出兵(20%)・米騒動(15%)があったことは歴史上の一つ一つのことながら関連をもったでき事として理解されず、断片な知識として暗記されている結果のあらわれとも見ることができる。いずれも歴史教育の大きな問題として指摘しておきたい。

(2) 地理的な知識についてみるとブエノスアイレスの正答率は28.5%、シカゴは72%、カイロ50%、ジャカルタ18%、になつている。とくにブエノスアイレス、ジャカルタの正答率が低いこと、又ブエノスアイレスを北京と誤答したものが比較的多かつたこと(13%)はアジア・南米などが現代の地理教育で重視されていないことをあらわすとしか考えられない。

又ブエノスアイレスをリオデジャネーロと混同したり(10%)、カイロをニューデリーと間違えているものが多い(18%)ことは地図が明確に把握されていないためと思われる。特に注意したいの

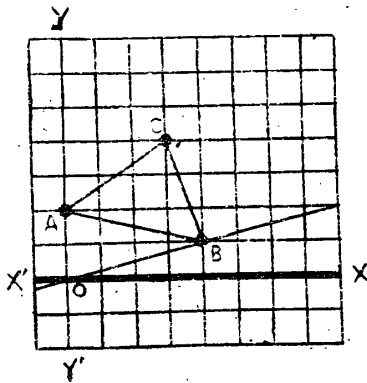
はカイロをローマと誤答したもののこと(16%)でこれは地域を一この概念だけに結びつけ、従って全体的なその地域の特質を見失っている点で無視できない問題を含んでいると思うのである。

3. 数 学 科

問題 A 左の図を見て次の問に答えなさい。

(図の一こまを1としなさい。)

- (1) x 軸に関してBと対称な点の座標。
- (2) 直線ACの方程式。
- (3) 原点Oに関して直線ACと対称な直線の方程式。



(1)については誤答は4%で対称という定義を理解していない結果によるものと思われ、誤答は全部区々である。

(2)も大体4%の誤答率で、誤答の傾向は定まらない。すなわち直線の方程式を理解していない結果による。

(3)は男女共に64%の者が誤答をし、その約半数が $y = -\frac{3}{2}x - 2$ としており、他の半数は一定の方向がなく区々である。これは図形の点対称の正しい意味を理解していないことを示している。ほとんどの教材が点対称を点、曲線で取扱つていて、本質についてのふれ方が少ないためではなかろうか。

問題 B 次に示された値を示す式を作りなさい。

- (1) a より15だけ大きい数
- (2) 1個20円のりんごを a 個と、1個5円のみか

んを b 個との値段の合計

(3) A, B 両人がそれぞれ毎時 x km, y km の速度で、12 km へだたった地点から同時に出発して、互に向き合って進んだとき、出あうまでの時間

(4) 単利法で元金 a 円、3年間の利息が b 円のときの利率

(1)(2)は誤答率が約19%及び4%で(1)ではその約2割が $a < 15$ としていたことが目立った。

(3), (4)は各69%, 44%の誤答率で、(3)では $\frac{12}{x} + \frac{12}{y}$ としたものが約1割その他は区々である。(4)は $\frac{36}{a}$, $\frac{b}{a}$, $a \times b \times 3$ としたものが約1割ずつである。これは公式の理解の不徹底と、できた式の変形の仕方がわからない結果と考えられる。

以上特にいちじるしい結果の表われたもののみ取り上げたのであるが、公式を暗記していても内容を十分理解していなかったり、式はできてもその変形等の練習が不足しているのを以上の点を通じて感じた。

4. 理 科

理科の問題作製に当っては実験の技術や能力をためす問題を考え、いたずらに知識のみを問わないように心掛けたのであったが、入学後の生徒に対する調査と関係づけて考察した結果では所期の意図が顕著には現われてこなかった。すなわち実験をよくやってきたものがかならずしも実験をあまりせずに、たとえば受験本意の勉強をしてきたものにくらべてよくできているとはいえなかった。これについては本紀要の中学校・高等学校における理科実験指導の基礎研究の中の第3報第4報に掲載しておいたので、くわしくはそれにゆずることにしたい。そこで一応そのような結果になった原因として考えられることをのべれば、調査対称が十数倍の率で合格した成績優秀者に限られ、理科の各般にわたる常識的な知識で判断することができ、実験経験の有無が直接には影響してこなかったこと、いいかえれば、ペーパーテストではこのような能力についての弁別力に一定の限度があると考えられることがあげられる。

つぎに、受験者全体について、その成績から推定できる二・三の事項について述べるならば、石灰岩の需要が近時特に急増した理由は、中性洗剤、合成染料、合成せんい、液体燃料の中、どの生産が増したためであるかを問うたところ、合成せんいであると正答し得なかったものが半教以上の66%もあった。これは日常生活と直結した応用面・生産面の指導が不足している、すなわちもっと端的に言えば基礎的・原理的な問題には力がそそがれているかも知れないが、三年生の終り頃に組まれている生産面についての理科指導の点に欠陥があるといわれていることの一つの現われであるように思われる。またソラマメの葉を注射器に水とともに入れ、減圧するとき葉から出る気体を問うたのに対して、空気であると答えたものはわずかに13%で、他の多くのものがちっ素だとか炭酸ガス、酸素などと考えている。これは発酵や炭酸同化の問題とならべて出題したので、つい生命現象の一つと早合点してなにか特別な気体が排出されるのではないかと思ひこんでしまったのではないか。よく中学校では、教師の専門分野に支配されて理科の内容を生物・物理・化学とに極端に分割して指導しており、そのために理科全般としての総合された科学的思考力を養うことをなござりにした場合におこる欠陥の一つの現われと見なすのが余計な心配であれば幸である。

5. 図画・工作科

筆記試験では創造力、表現力、感覚等をテストすることはきわめてむずかしいので、こゝでも知識理解の力をテストするとどまつたけれども、一般に受験者が修得した知識には速成の暗記や観念的な理解が多いことが認められた。

図工科では知識の学習は表現や技術や鑑賞の学習と共に総合して学習され、目や手を通して理解されることが理想とされてはいるものの、実際になかなかそこまで手が及ばない実状にあることが察せられる。

たとえば問題(一)で、問題に時代を江戸と限定してあるにもかかわらず、木版画家の誤答に運慶が多かつたのは実例鑑賞の機会が少ないことのあら

われである。じっくりと作品に親しみながら学習したのではなくて、人名だけを記憶して得た不確かな知識によつたために運慶——木彫——版画、とむすびつけていった誤りであろうと推測される。

又問題(四)で誤答(43%)のほとんど全部が解答例イ、に集中しているが、これは法隆寺が美しいことを知識として与らえていただけだからではなからうか。

その他美術史の知識では西洋美術の学習が非常によく行われているのに対して、日本美術の方が貧弱なことがきわめて明瞭な数字となって現われている。

6. 音楽科

(1) 長調と短調について

別表に示されたように、長調と短調に対する知識の差ははなはだしい。もちろん短調の曲は教材としては少いが、これに対する知識は小学校の時からあげられているので、中学校においてはある程度はつきり把握される必要があるのではないだろうか。

(2) 和音について

別表で明らかなように、Iの和音の93%の高率に対して、V₇の和音の正答は38.5%の低率を示している。中学校ではI IV V V₇の和音の把握とそれの発展まで学習されるのは、決して不自然ではなく、むしろ自然であると思われるので、このV₇の和音の理解力を一層高めたいのものである。

(3) その他

拍子で特に%拍子のリズム感と理解力に欠けていることや、階名のいまだ知らない者のあることが目立った。

長 調			短 調		
	正 答	誤 答		正 答	誤 答
男	86	11	男	33	67
女	87	13	女	29	71
計	176	24	計	62	138
%	88%	12%	%	31%	69%

I の和音			V ₇ の和音		
	正 答	誤 答		正 答	誤 答
男	87	13	男	40	60
女	96	4	女	37	63
計	183	17	計	77	123
%	93%	7%	%	38.5%	61.5%

7. 保健体育科

保健体育としては単に知識の面から生徒の力を知ったに過ぎないのであるが、単なる知識としての知識でなく技能や態度に伴うところの知識として問題を考えた。問題は7問。その中保健3問、体育4問の割合であった。その結果を総合して考えると次のようなことになる。

1. 保健の成績は余りよくない。
2. 知識と実際とが遊離している。
3. スポーツについての常識的な知識も少ない。

まず1.保健の成績についてであるが、保健3問の正答率が平均22.5%というのは余りにも悪すぎはしないだろうか。このことは入学後の生徒への質問その他によっても、裏付けられたのであるが中学校の保健学習が十分行われていないのではないかということである。実際に保健の学習が理科、家庭科、社会科等の領域と重なり合っている点や、生徒が戸外の体育実技を好むというような点から、現在の中学校の保健学習が周到に計画されたカリキュラムによって行われていないのではないかということが想像される。

次に2.知識と実際との遊離については、平常生徒が使っている球技・陸上競技のルールや用語であるのにさてそれを聞いてみると、はっきり言えないという点で体育の学習が技能中心にかたよりすぎて、技術に伴うべき知識がおろそかにされているのではないかという心配がある。

最後に3.常識の点であるが、問題五に対しデヴィス、カップ戦を正しく知っていた者、すなわち硬式庭球という選択しを選んだ者がわずかに46%しかなかったということは、体育理論でも教えられたらうし、又新聞や雑誌にも時々出てくるデ杯戦についての知識がこの程度のものであったと

いうことを示している。以上保健体育の解答を通じて感じたことは保健体育の学習が少し技能にのみかたよっているのではなからうかということとで、今後この点についてはさらに検討してみる必要を痛感した。

8. 職業家庭科

この試験に関してはとくに問題点は見出し得なかった。

9. 英語科

英語科として取上げた目的は1.受験勉強の激しいといわれている学校とそうでない学校の間に誤の種類において差があるかないか、2.全体的に見てどのような誤が最も多いか、の二点である。第一の問題について、A(受験勉強を特別にしない)、B(受験勉強に特に力を入れている)二校の比較の結果は誤の種類において大きな相違が認められなかった。第二の問題について、両校の誤の程度のはなはだしいものを述べれば、

(A) 問題(三)の(4)に対し正答率は、A校5%、B校2%。誤答のうち onen としたものはA校70%、B校60%であった。

(B) 問題(三)の(3)に対し正答率は、A校10%、B校12%。誤答のうち turn と答えているものA校06%、B校60%。であった。

(C) 問題(二)の(2)に対し正答率は、A校40%、B校38%。誤答のうち dishonest を選んだ者は、A校56%、B校60%。であった。

次に両校の正答率のいちじるしく多いものをあげれば、

(A) 問題(一)の(3)に対し正答率は、A校70%、B校65%。である。

(B) 問題(一)の(2)に対し正答率は、A校70%、B校70%。の多数を占めている。

以上の結果目的の第二項の点に対し、類推のできる解釈問題は高い正答率を示しているが、文法・作文において極度に低い。これは文法・作文の基礎がは握されていないことを示している。上掲のデータは極端な差が出ているが、他の問題においても大体同様な傾向が見られる。

Ⅲ む す び

以上を総括して各科に共通にみられる注目すべき事柄としては、第一に中学校教育に要求されている基礎的な知識・技能においてもやや欠けている面があると考えられることである。これは理科・社会科のような単元学習の形態をとっている科目においてみられることはもちろんであるが、比較的ドリルを重視する科目、たとえば数学・国語・音楽・英語などにおいてもなおそれがみいだされる。第二に関連しあう知識を総合的にまとめる力が弱いように見受けられる。これについては単元学習でかなりの重点をおいて指導がなされなければならないと思われるのに、理科・社会科の問題においてももうかがえるように日常生活に密接な事実に対する関心がうとく、科目の内容をさらに細い分野においてのみ理解しようとしたり、時代の変遷にともなう歴史の一貫した関連事項の理解について欠けるとこなどが相当強く認められる。

これらの欠陥をもたらした原因としては、現在の中学校教育が高校の入学考査のためにその本来の使命から相当ゆがめられていることを考慮に入れなければならないと思う。高校入学がますます困難化してくる近頃の状況では、中学校において入学試験により成績をおさめようとして、学校も生徒も親もそのための特別な指導にはしりがちである。そのため落ち着いて中学校教科課程にある内容や、それぞれの教科のねらう指導目標をはずれてしまう事態がおこり、一方高校受験希望者以外の生徒は、これらの努力の犠牲になってしまいがちである。したがってこのいずれの側の生徒に対しても本来の教育から遠ざかってしまうことになっているのではないだろうか。

また高校の入学考査を施行する側にあるものとしても、細心の注意をはらって、問題の内容やその実施の方法などをたえず研究していくことが重要な課題であると思われる。

本稿執筆者

天野菊三郎 石黒 鈺二 稲山 沢子

岩倉 一 織田長繁 加藤 剛
加藤 十八 金田トシ子 佐伯正一
新海 寛 鈴木洋一郎 丹下省吾
都 築 享 戸 莉 進 中尾正三
中根一芳 中野満男 丹羽義信
畑 実 原田秀雄 平野幸雄
兵藤祚夫 福中康子 三橋一夫
渡辺貞夫

試験問題抄録

国語の問題

(一) 次の文と歌とを読み間に答えなさい。

わたくしたちが一日の生活の中で感動するいろいろのことを、五句三十一音字で書きあらわしたのが、短歌である。それゆえ、この形式にその内容をいかにもり込むかが大切な問題となってくる。例えば

- イ 朝早く御飯を食べて電車にてわれは学校にいそぎけるかも
- ロ 学校に向う電車の窓に見て桜の花は咲きそめにけり
- ハ 新しき帽子かぶれる新入の生徒がけさは車に満ちたり
- ニ 秋の夜の空を仰げば涼しげに無数の星のかがやきにけり
- ホ 方程式解き終えて仰ぐ夜の空はかがやく星も秋めきにける
- ヘ わが庭の枯木に花の咲きしごと雪白白とけさはつもれり

の歌でもわかるように、たとえ美しいことばを用い、形式がととのついても、単なる報告や毎日繰り返すひとつの動作などの歌には、作者のすがたが生き生きとうつつてこないから、「ああ、そうですか。」ということ以外になんのいんしようもうけず、またこうぶんも感じません。これに対して、いつも生き生きとした心をもっている人は、自分自身の生活をよくみつめ、その生活の中から「おどろき」「よろこび」「ほこり」あるものなどを具体的にとらえることができるから、その歌はせいしんな感じを与えるものである。

(1) 上の歌には、よい歌と、そうでない歌とありますが、よい歌を選び、答を記号でわくの中に書き入れなさい。

答

よ	い	歌							
---	---	---	--	--	--	--	--	--	--

(3) 次に挙げることばの意味で最も適当な答を番号でわくの中に書き入れなさい。

イ 具体的に

1, 感激をこめて 2, かたくしっかりと 3, 目に見えるように 4, 調子のよいことばで

ロ 単なる

1, ひとりよがりの 2, ひととおりの 3, ひとりぼつちの 4, てみじかな

答 答

(4) 下に——線を引いた「かな」を漢字でわくの中に書き入れなさい。

答	ト	チ	リ

(5) 次文を読んで、問に答えなさい。

われわれの言葉というものは、耳で聞かれる音声のほかに、普通に考えられているよりもはるかに多く、(1), 有力に、目で見られる目つき、顔つき、また、手つき、足つきが、(2), からだ全体の動きや状態が加わったもので、あるいは、その両者が一体となって働き、あるいは(3)が(4)に代ってその任務を果たし、(5), 後者が前者を裏切って一種独特な意味表現を形成したりする。(6)の小説「手巾」において、ひとりの母親が愛児の死をその旧師を訪ねて報じるのに、まるで日常茶飯来を語るような平静さで話し、口角に微笑をさえ浮べて語っているのに、テーブルの下にかくれた膝の上では、手がふるえ、両手でひき裂かないばかりにかたくにぎつたハンケチが微風にても吹かれているように、たえまなく動いていたという、そういう情景をも現出することになるのである。

(1) この文の(1)から(5)までの中には次のことばか一回ずつ入る。最も適当と思うものの記号を答のわくの中に書き入れなさい。

イ, さらに ロ, 前者 ハ, あるいは ニ, 後者 ホ, また

答	()の番号	1	2	3
	記号			

答	()の番号	4	5
	記号		

(2) この文で作者が言おうとしていることはなにか。次の中から最も適当と思うものをえらびその記号を答のわくの中に書き入れなさい。

イ, 言葉は音声から成り立っているものである。
ロ, 言葉の不足は動作によつて補われる。
ハ, 言葉は音声に表わされるものがすべてではない。

ニ, 言葉と動作とは正反対の場合がある。

ホ, 言葉を聞けば相手の心理がわかる。

答

(4) 下に——線を引いた言葉について、問を答のわくの中に書き入れなさい。

イ, 次のことばの読みがなを書きなさい。

7, 茶飯事 8, 微笑

ロ, 次のことばの品詞を書きなさい。

9, かたく

番号	7	8
よみ		

番号	9
品詞	

社会の問題

(5) A表の年表を見て () の中に当てはまる人名、歌、書名、事柄をB群から選び、その番号を答のわくの中に書き入れなさい。

A.

年代	人名	文化	日本の移り変り	世界の動き
17世紀	芭蕉	(ハ) 書名	江戸幕府	イギリス革命
18世紀		蘭学おこる 文化、文政 の文化	享保の改革 寛政の改革	アメリカ独立 (ニ) 事柄
19世紀	(ホ)人名 (ヘ)人名	西洋事情	明治維新 自由民権 運動 帝国議会 開設	アヘン戦争
20世紀	(ト)人名 原敬	「君死にたまふことなかれ……」	日露戦争 第一次大戦 政党内閣制度確立 (チ)ことから 満洲事変 二・二六事件 第二次大戦	ロシア革命 ニューデール (アメリカ) ナチス体制確立 (ドイツ)

高校入学試験の成績を通じて見た中学校教科教育の問題点

- B 1. 南北戦争 2. 南総里見八犬伝 3. 島崎藤村 4. 空海 5. 木戸孝允 6. 古事記伝 7. フランス大革命 8. 汝や知る都は野辺の夕雲雀あがるを見ても落つる涙は 9. 樋口一葉 10. 大恐慌 11. 源信 12. あをによし奈良の都は咲く花のにはふか如く今盛りなり 13. シーボルト 14. 福沢諭吉 15. 米騒動 16. 奥の細道 17. 親鸞 18. 中国革命 19. 蘭学事始 20. シベリヤ出兵 21. 与謝野晶子 22. この世をばわが世とぞ思ふ望月のかけたることのなしと思へば 23. ペルリ 24. 板垣退助

答

イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ

(一) A群の文は四つの都市のそれぞれの特徴をあらはしたものです。B群にはその都市をふくむ12の都市の名があげてあります。C表の地図には○をもって、A群に示された都市をふくむ12の都市の場所があげてあります。A群のそれぞれに対応する都市名、およびその位置を; B群、C表から選び、その番号を答のわくの中に書き入れなさい。

- A. イ. 温和な気候と、広大な草原に恵まれた地方の中心で、小麦、とうもろこし、肉の大輸出港である。
ロ. ある国の首都で、この国は最近までおよそ三百年にもわたって外国の支配下におかれ、大農園が経営されていた。

ハ. 湖と平原の結合地として発達し、工業、交通、蓄産の大中心であり、この国有数の大都市である。

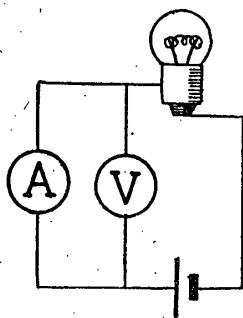
ニ. 古代文明の栄えた地方の中心で、現在この地方はかんがい施設がととのい、良質の綿を多く産出する。

- B. 1. ローマ 2. シカゴ 3. ロンドン 4. オタワ 5. 北京 6. カイロ 7. ケープタウン 8. ニューデリー 9. ジャカルタ 10. リオデジャネーロ 11. ブエノスアイレス 12. キエフ

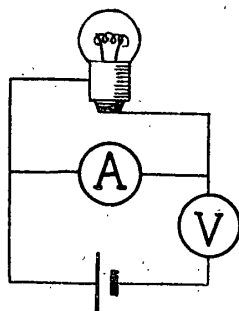
A 群	B 群	C 群
イ		
ロ		
ハ		
ニ		

理科の問題

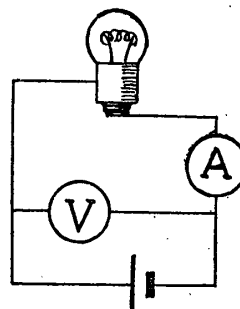
(四) 電池、豆電球を配線して、豆電球を流れる電流と、電池の電圧をとともに正しく測りたいと思う。これに適する電流計、電圧計を用いて次の配線考えた。これについて下の問に答えなさい。答えは下の図の中から選んでその記号を答のわくの中に書き入れなさい。



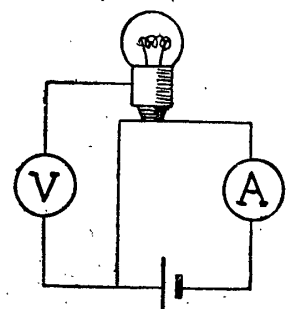
イ



ロ



ハ



ニ

図の中の(A)は電流計をしめし、(V)は電圧計をしめす。

てんあつけい

- (1) 電流計、電圧計がともに正しく配線されているのはどれですか。
(2) 電流計がこわれるおそれのあるものはどれですか。
(3) 電流計の示針がほとんど動かないと考えられるの

はどれですか。

答

(1)	(2)	(3)

図工の問題

(一) 次の文章の中にある二つのわくの中に、下にある六人の名前の中からそれぞれ一人ずつをあてはまるように選んで、その記号を答のわくの中へ書き入れなさい。

江戸時代にはいろいろなそうしよくのための美術が発達したが中でも **1** は屏風や箱などをかざるための見事な図案を作った。又木版画も非常に発達して **2** などの版画はヨーロッパの絵にも影響をあたえた。

イ、雪舟 ロ、葛飾北斎 ハ、運慶 ニ、鳥羽僧正 ホ、円山応挙 ヘ、尾形光琳

答

1	
2	


(二) 次の文章の中から正しいものを一つ選んでその記号を答のわくの中へ書き入れなさい。

- イ、法隆寺の金堂は建物全体がつぶれそうなほど屋根の形が堂々として重々しいのでたいへん美しい。
- ロ、日光の東照宮はたてるのに費用が多くかかっていることが誰にでもすぐわかるので美しい。
- ハ、ニューヨークの国連本部の建物は何にもかざりがないのでさっぱりとして美しい。
- ニ、田舎のわらぶき屋根の家は美しいから都会の中にもこれをたくさん建てる町がたいへん美しくなるに違いない。

答

--

音楽の問題

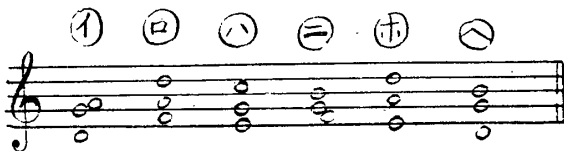
(一)  左の音は、次の調において階名の何に当るか。答を階名でわくの中へ書き入れなさい。

- (1) ハ短調 (2) ニ長調

答

ハ短調	ニ長調
-----	-----

(二) 次の六つの和音の中に、I (又はTV7),(又はD7),の和音が一つずつある正しいものをえらんでその記号を答のわくの中へ書き入れなさい。



I又はT	V7又はD7

保健体育の問題

(一) 国際試合においてアメリカ人デヴィスという人から寄贈された大きな銀製のカップが優勝国にさづけられるスポーツは () である。

イ、硬式庭球 ロ、硬式野球 ハ、硬式卓球 ニ、軟式庭球 ホ、軟式野球 ヘ、軟式卓球

答

--

英語の問題

(一) 次の文を読んで下の問に答えなさい。

It was evening, and the people of the pretty little Persian town (A) the mountains were (B) after (C) long day's work. In the garden of one of (D) most beautiful houses in the town, the merchant Cassim and his wife (E) drinking coffee and talking over the events of the day.

"How was business today?" asked the wife.
 "Excellent," replied Cassim. "One of our caravans returned and I have made a good profit.

I shall soon be the richest man in the town."

(註: caravan 隊商 Profit 利益)

(2) "Excellent," replied Cassim. の excellent の意味を最もよく表わしていると思うものを選んでその番号を答のわくの中へ書きなさい。

1. 残念だ 2. じょうずです 3. 優秀です
 4. 上出来だった 5. 失礼しました

答

--

(3) I shall soon be the richest man in the town. の意味を正しく表わしていると思うものを選んでその番号を答のわくの中へ書きなさい。

1. まもなく私は町一番の金持になるでしょう。
 2. まもなく私は町の大金持になるでしょう。
 3. まもなく私は町一番の金持になった。
 4. まもなく私は町一番の大金持になってやるんだ。
 5. すぐに町の大金持になるのは私でしょう。

答

--

高校入学試験の成績を通じて見た中学校教科教育の問題点

(1) 次の日本語に対する正しい英訳と思われるものを選んで、その番号を答のわくの中く書きなさい。

(2) 私は彼が正直な少年だと思う。

1. I think he a honest boy.
2. I think him a honest boy.
3. I think he honest.
4. I think he is an honest boy.
5. I think that he is a honest boy.

答

(3) 次の文の () に最も適する語を選んでその番号を答のわくの中へ書きなさい。

(3) () to the right, you will find the station.

1. Turns 2. Turned 3. Turn
4. Turnning 5. Turnning

答

(4) Would you mind () the window?

1. opening 2. opened 3. opening
4. open 5. opened

答